

紀元前586年バビロニア帝国が、ユダ王国を征服しました。その戦争によりエルサレムの神殿は破壊され多くのユダヤ人がバビロニアに奴隷として連れて行かれました。王様は外国の文学などに関心があったので、イスラエル人の文学も学ぶためにダニエルという賢い少年たち4人を王宮に連れて行きました。ある時バビロニアの王様が恐ろしい巨大な像の夢を見ました。その像の頭は純金、胸と腕は銀、腹と腿は青銅、脛は鉄、足は鉄と陶土でできていました。この夢が何を意味するのか、王様の側近である魔術師などはだれも分かりませんでした。ところがダニエルだけが王の夢解きをしたのです。

以来ダニエルは王様に仕える高官として他の賢者たちの長官に任命されたのです。それからダニエルと3人の仲間たちはいろいろな難しい局面を切り抜けていきます。燃えさかる炉の中に3人が投げ入れられたけれども生き延びて、王様はダニエルたちの神さまを信じるようになった、ある時には壁に文字を書く手が現れた、ダニエルはその文字の意味を解読した…。ダニエルはライオンの洞窟に投げ入れられる…。

そうこうするうちに、ある時ダニエル自身が幻を見ます。ダニエルはその意味を説き明かそうとしていると、自分の前にひとのような姿の者が立っていました。それが天使ガブリエル（ゲベル・エル：神の人）だったので、ガブリエルは、幻の意味を説き明かしました。その意味は、なんと四百年くらい後に救いが到来するということ、イスラエル

の救い（マカバイ戦争）に関することだったので。

それからしばらく後、ダニエルがエレミヤ書を読んで悔い改めて祈っている時のことです。ガブリエルは再び現れました。メシアが現れて、破壊されたエルサレムの復興、救いまで70週あるということです。この70週の1週は7年のことで、490年後という意味です。その救いとはマカバイ戦争のことです。マカバイというダビデ家から救い主が現れて、シリアに対して独立戦争を起こしたことです。しかし、この独立は66年続いた後紀元前63年に、ローマが再び支配します。

ダニエルがみた幻を説き明かした天使ガブリエルは、つかの間の独立を預言したものの結局は、挫折したわけです。ガブリエルの預言は武力による武装蜂起、そして独立の回復だったのです。

それから60年後ガブリエルは再び、神さまから遣わされます。今度はヨセフと婚約しているマリアという女性に現れました。マリアという名前は女性の預言者ヘブライ語の「ミリアムから来ていますが、当時は一般的な名前、祭司の家系でもなさそうです。そしてガブリエルの語りかける口調もずいぶん変わっています。

「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる」。

26 六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。27 ダビデ家のヨセフという人のいいなすけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといっ

た。28 天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」

しかも、ガブリエルの言葉は、とても簡潔です。かつて、ダニエルには数日病での混むほど衝撃的な現れ方をしたのでしたが（ダニ8・27）、

ダニエル 8・27 わたしダニエルは疲れ果てて、何日か病気になっていた。その後、起きて宮廷の務めに戻った。しかし、この幻にぼつ然となり、理解できずにいた。

ガブリエルの言葉は「おめでとう」という呼びかけにはじまる優しい語り掛けですが、…。それでもマリアは戸惑い、考え込んでしまつたのです。そこで「恐れることはない」となだめます。

29 マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。30 すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。

31 あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。32 その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。33 彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」

ガブリエルがマリアに告げたこと

戸惑い考え込んだことに対して…：生まれる男の子をイエ

スと名づける、その子は偉大になりダビデ王座を神が与える。イスラエルの支配は終わることがない」と。しかし、アリアは否定するのです。

天使は去って行った。

34 マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょか。わたしは男の人を知りませんのに。」35 天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。36 あなたの親類のエリザベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。37 神にできないことは何一つない。」

人間にとって不可能を可能とする真実な言葉とはどんな言葉なのでしょうか。…それは仲間。「わたしはひとりではない」と確信できる現実です。

### マリアの否定をひるがえした言葉

ガブリエルは譲歩して応えます。聖霊があなたに降る。…おそろしくこの言葉もマリアの心を開かなかったと思われます。彼女の心は何によって開かれたのでしょうか。冒頭にガブリエルは、「主があなたと共におられる」と告げました。その言葉は、エリザベトが身ごもったことでマリアを孤独にしておかなかった神の言葉が現実となったのです。マリアはこの後急いでエリザベトを訪ねるのです。

38 マリアは言った。「わたしは主のはためです。お言葉とおどりの身に成りますように。」